



2026年2月13日

各位

会社名 株式会社 MUSCAT GROUP
代表者名 代表取締役 大久保 遼
(コード：195A、東証グロース市場)
問合せ先 取締役経営管理本部長 森岡 祐平
(TEL. 03-6684-2373)

KLab 株式会社との業務提携に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、KLab 株式会社（以下「KLab 社」といいます。）との間で、事業機会の創出を目的とした業務提携を行うことについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業務提携の目的及び概要

当社は、「Difference for the Future.」というミッションを掲げ、SNS を中心としたマーケティングとデータ活用を通じて、幅広い領域で再現性高く成長ブランドを創出・運営するブランドプロデュース領域と、顧客企業のマーケティングを上流から下流まで幅広く一気通貫のソリューションで支援するブランドパートナー領域からなる、ブランドプロデュース事業にグループ一体となって取り組んでいます。ブランドプロデュース事業では、マス市場の中にある、成長性の高いニッチなニーズを精緻に捉え、その領域でのトップシェアの獲得を目指す「ニッチトップ戦略」を推進しています。

また、「ニッチトップ戦略」をグループ全体で推進するにあたり、2025年5月14日にお知らせいたしました「事業計画及び成長可能性に関する資料」に記載のとおり、ブランドプロデュース事業のターゲットとなるニッチ市場の更なる積み上げが必要不可欠となっています。特に、成熟市場の中での成長市場を探していく当社の「ニッチトップ戦略」においては、「グローバル単位でのニッチトップブランドの展開」が今後の当社のブランド成長に資すると考えております。昨年当社が子会社化した株式会社かならぼの主力ブランド「Fujiko」においては、すでに中華圏を中心に海外展開を加速しており、中華圏のみならず、米国や欧州、中東など、グローバルにニッチトップ戦略を展開することで、ブランドプロデュース事業を加速的に成長させていけると考えております。

こうした中当社は、従来の中華圏を中心とした海外展開に加え、中東への海外展開を加速し、既存領域の枠を越えた新たなブランドプロデュース事業の機会創出を目的として、KLab 社と業務提携を行うことを決定いたしました。また、本業務提携を通じ、当社のブランドプロデュース事業におけるデジタルマーケティングのデータ等を、KLab 社が推進する AI 関連事業の研究開発へ活用していく予定です。

KLab 社とは従来から、海外市場におけるマーケティングに関する連携や、AI 関連事業における連携など、幅広く取り組みの検討をしておりました。その中で、①当社のブランドプロデュース事業の中東地域における展開において、事業運営体制の構築や採用、オンライン広告運用手法などのノウハウの提供により KLab 社が協力する、②当社のデジタルマーケティングに KLab 社の AI クリエイティブのソリューションを活用し、共同研究による当社のブランドプロデュース事業の業務効率化等を目指す、という取り組みを通じて当社全体の企業価値の底上げや KLab 社の AI 関連事業の研究の事例になるなど、相互にメリットを創出できると考えております。

KLab 社は、企業経営および財務戦略領域において豊富な知見を有する、アラブ首長国連邦（以下「UAE」と

います。) ラス・アル・ハイマ首長国の王族のシェイク・サレム・カリド・フマイド・モハメド・アル・カシミ殿下を顧問として受け入れております。さらに、KLab 社は、モバイルオンラインゲームをグローバル向けにも配信しており、UAEにおいても配信タイトルがAppStore 国・地域別最高セールスランキング1位を取得した実績があるなど、コネクションの提供にとどまらず、中東市場における事業展開や広告関連のノウハウも有しております。こういった海外での事業展開やオンラインを中心とした広告配信のノウハウは、当社のブランドプロデュース事業において、ECを中心に応用できるものであると考えます。

本業務提携を通じ、当社は中東地域における KLab 社のコネクションおよび事業のノウハウを活用した当社の中東市場への本格的なブランドプロデュース事業の展開を検討してまいります。

2. 業務提携先の相手先の概要

(1)	名 称	KLab 株式会社		
(2)	所 在 地	東京都港区六本木六丁目 10 番1号六本木ヒルズ森タワー		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 真田 哲弥		
(4)	事 業 内 容	モバイルオンラインゲームの企画・開発・運用、GPUサーバーの調達・販売・運用・保守、総合AIエンタテインメント事業、AIクリエイティブ制作事業等		
(5)	資 本 金	8,613 百万円 (2025 年12月末日時点)		
(6)	設 立 年 月 日	2000 年8月1日		
(7)	大株主及び持株比率 (2025 年12月31日時点)	I N T E R A C T I V E B R O K E R S L L C 12.71% 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) 5.48% 楽天証券株式会社共有口 4.56% 株式会社シックスセンスホールディングス 2.60% 青柳 和洋 2.32%		
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません	
		人 的 関 係	該当事項はありません	
		取 引 関 係	該当事項はありません	
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません	
(9)	当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期
	純 資 産	11,709 百万円	10,371 百万円	10,304 百万円
	総 資 産	17,754 百万円	15,784 百万円	13,273 百万円
	1 株 当 たり 純 資 産	282.21 円	216.46 円	133.89 円
	売 上 高	10,717 百万円	8,306 百万円	6,856 百万円
	営 業 損 失	△1,218 百万円	△1,342 百万円	△1,304 百万円
	経 常 損 失	△852 百万円	△1,280 百万円	△1,421 百万円
	親会社株主に帰属する当期純損失	△1,819 百万円	△2,782 百万円	△4,176 百万円
	1 株 当 たり 当 期 純 損 失	△44.98 円	△62.91 円	△73.53 円
	1 株 当 たり 配 当 金	—	—	—

3. 業務提携の日程

(1) 取締役会決議日	2026 年 2 月 13 日
(2) 業務提携に関する契約締結日	2026 年 2 月 13 日
(3) 業務提携開始日	2026 年 2 月 13 日

4. 今後の見通し

本提携による業績に与える影響は軽微と考えられますが、今後開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上